

国際ロータリー第2730地区

高鍋ロータリークラブ

会報



会 長 函 師 義 孝
 副 会 長 石 田 喜 克
 幹 事 山 口 順 一
 例 会 日 毎 週 木 曜 日 12:30~
 例 会 場 ホ テ ル 泉 屋 2F
 事 務 所 宮 崎 県 児 湯 郡 高 鍋 町 大 字 北 高 鍋 1368-4
 ホ テ ル 泉 屋 内 TEL/FAX 0983-21-1636

第 1752 回 平成 24 年 8 月 30 日 プログラム

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 点 鐘 | 7. BOX披露 |
| 2. ロータリーソング | 8. 各委員会報告 |
| それこそそロータリー | 9. 内部卓話 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 10. 次週例会案内 |
| 4. 会長の時間 | 11. 点 鐘 |
| 5. 幹事報告 | |
| 6. 出席報告 | |

2730 地区ガバナー 山下 皓三

中部分区ガバナー補佐 池田 豊繁

2730 地区テーマ

夢・誇り・挑戦 (素晴らしいロータリーの再生)

高鍋ロータリークラブテーマ

「絆」 原点を見つめて一思いやりの心で

8月の月間テーマ

会員増強及び拡大月間

本日の例会案内

- *会員増強・拡大月間卓話
- *100万ドル

次週例会案内; 9月6日 (1753回)

- *月初めのセレモニー
- *会員卓話—森本君・道北君
- *米山ランチ *例会終了後理事会

第 1751 回 例会内容

高鍋・西都・佐土原 三クラブ合同ガバナー公式訪問



■会長の時間

会長 函師義孝君

皆さんこんにちは。
 今年度高鍋ロータリークラブの会長を務めさせていただきます函師です。
 今年度のガバナー公式訪問は、高鍋・西都・佐土原の3クラブでの公式訪問となりました。



思い起こせばこの3クラブは、宮崎北ロータリークラブをスポンサークラブとして高鍋、西都、佐土原と順に拡大成立され、今日に至っています。

三年後に創立40周年を迎える高鍋クラブ。又、早くに函師ガバナーを排出された西都クラブ。少数精鋭で活躍している佐土原クラブ。それぞれの立場で地域に溶け込み頑張っています。

会員も皆、ロータリーを楽しんで絆を深め合っています。高鍋クラブも今年の重点目標に絆を掲げました。

「絆を深める。」これは、3クラブ間においても大切なことではないでしょうか。

お互いにメイクアップで交流したり、ロータリーの問題で悩んだり、協力し合いながら絆を深め、それぞれの地域にとってなくてはならないロータリークラブを目指したいと思います。本日もロータリーを楽しんで下さい。

■幹事報告

<文書案内>

* 9月のロータリーレート

1ドル=80円

* 中部分区会長幹事会案内

日時 2012年10月3日

場所 ホテルマリックス

* インターアクトアンケート

幹事 山口順一君



☆ガバナーアドレス

第2730地区ガバナー
山下皓三様



皆様こんにちは。2012-13年度のガバナーの重責を担うことになりました鹿児島西ロータリークラブ所属の山下皓三です。よろしくお願いいたします。

田中作次R I会長は今年度のテーマを「奉仕を通じて平和を」とされました。国際協議会においてテーマへの思いとR I戦略計画を強調されました。ロータリーは変革期を迎えています。国際ロータリーではR I戦略計画の活動の実践化を推進し、ロータリー財団では未来の夢計画を次年度から世界全ての地区において実施を開始いたします。しかし、ロータリアンやロータリークラブがこのことについて十分な知識が無いままでは対応が遅れてしまいます。また、ロータリーのことについての知識が備わったロータリアンが減ってきたようにも思います。

ロータリーのことを知らずにロータリーを楽しむことは出来ません。今年度は、このことを踏まえて研修会を充実していきます。また、ロータリーの根幹でもありません職業奉仕については、地区大会においてシンポジウムや行動展示、ポスター展示など職業奉仕をコンセプトに大会を企画しています。なぜ、ロータリーがロータリアンの行動規範を基に、四つのテストや職業宣言など高い道徳的水準を促進しているかを考えていただきたいと思います。

今期の地区のテーマは夢・誇り・挑戦 一すばらしいロータリーへの再生一です。そして、行動指針はロータリーを学び・考え・行動するクラブづくりとしました。地区では行動計画を17項目掲げて実施してまいります。

地区・リーダーシップ・プラン (DLP) は地区レベル、クラブレベルでロータリーを強化・充実する目的で10年前から採用してきました。その延長計画としてロータリークラブの強化を目的にクラブ・リーダーシップ・プラン (CLP) を推奨してきましたが、四大奉仕がなくなるのではないかという誤解から各クラブのCLP導入への意識は低下していたようです。

しかし、国際ロータリーのR I戦略計画や次年度から実施されるロータリー財団の未来の夢計画を考えると地区とクラブとの連携が取れやすいCLP導入推奨する根拠の説明が必要になってきました。社会の変化に対応できる組織でなければロータリーも存在意義がなくなります。地域に必要とされ、世界で最も優れた市民団体と認められるために、効果的なクラブづくりをして、クラブを活性化することが大切です。結果として、会員の維持増強に繋がるのではないのでしょうか。

委員会構成だけでなく、機能の備わった組織としてのCLPを理解していただきたいと思います。

■出席報告

出席委員長 石井秀隣君

出席状況

会員数	48名
出席会員数	37名
ホーム出席率	80.43%
前々回修正出席率	84.78%



■BOX披露

親睦活動委員長 橋口清和君

<ニコニコ・財団・米山BOX>

函師義孝君 山下ガバナーをお迎えして。

茂木晃君 山下皓三ガバナーをお迎えして。

永田英徳君 ガバナーをお迎えして。本日はたつぷりと

勉強をして帰りたいと思います。宜しくお願いします。

田中春敏君 歓迎。山下ガバナーようこそ。

藤本範行君 山下ガバナーようこそ。暑い中ご苦労様です。今日はよろしくご指導願います。

関正夫君 ガバナーをお迎えして。

